

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

昨年の暮れに中国の武漢で新型コロナウイルスが確認された後、世界的なパンデミックとなり、現在も欧米を中心に第1波を上回る規模の新規感染者が広がっており、収束には至っていません。山形県でも3月末に感染者が確認され、緊急事態宣言を発令。共立社でも様々な組合員活動を自粛・中止しました。県の緊急事態宣言解除後に、組合員活動のガイドラインを定め、6月以降段階的に活動を開始していき、感染拡大防止対策が困難な活動については、現在も再開を見合

感染予防と組合員活動の両立、新しい活動のあり方を模索しました

●各地域でこぶ委員会長会議を開催し、地域理事とこぶ委員長が地域の課題を共有し、地域の活動が活発になるよう、情報交換、意見交流を行いました。●活動内容は、調理・試食を伴う活動から、学習や小物づくり、雑貨品の商品比較等の活動に移行しています。



▲寒河江生協「小物づくり教室」3密対策を取って再開

平和とくらしを守る運動をすすめました

●2019年4月から2020年3月末まで取り組んだ、「平和首長会議が提起する「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名」は、9,189筆集約され（自主目標1万4,300筆）、達成率は64.3%の実績でした。4月4日付で平和首長会議に送付しました。●「NPT」核不拡散条約「再検討会議」の開催が延期されたことにより、生協代表団派遣は中止になりました。代表派遣を支える募金活動や物販による募金カンパ募金は、43万2,264円でした。お預かりした募金は、次回派遣費用とさせていただきます。



▲NPT再検討会議へ派遣される予定だった今野由美子さんと全地域からの寄せ書き

●「NPPT」核不拡散条約「再検討会議」の開催が延期されたことにより、生協代表団派遣は中止になりました。代表派遣を支える募金活動や物販による募金カンパ募金は、43万2,264円でした。お預かりした募金は、次回派遣費用とさせていただきます。

●日本生協連主催「ピースアクションinヒロシマ」・「ピースアクションinオキナワ」は、現地への派遣は行わない、オンライン開催となりました。8月4・5日に開催された「ピースアクションinヒロシマ」については、共立社で9地域10会場の計6企画に組合員のべ97名が参加しました。●各地域で、新型コロナウイルス感染症予防対策をとり

ながら「夏の平和展」や「原爆展」に取り組みました。内容はパネル展示を中心にしたものとなりました。●映画「お母さんの被爆ピアノ」がフォーラム山形とフォーラム東根の2会場で上映され、山形生協と北村山生協では、前売り券の普及・劇場ロビーでの「平和展」に取り組みました。（8/7・8/20）座席数を減らしたの上映でしたが787人が鑑賞しまし



おかあさんの被爆ピアノ

い。STAY HOME」と、こぶ委員会としての取り組みました（7/6・8/21）。●「おうちでつどい」には、全体で944名（前年1,623名）が参加しました。開催方法を変更したこと、これまでに参加したことのない方からも申し込みがありました。

食の安全・安心や健康を守り、食糧自給率の向上につなげました

産直活動



▲やっ和交流できた「稲刈り」(庄内)

●山形と庄内地域で開催している「米づくり体験交流会」は、山形県内の感染状況が落ち着くまで開催を見合わせましたが、交流田の様子をHPやFacebookを通して組合員にお伝えしました。●南陽地域では、ブルーベリー収穫体験を6回行い、209名が参加しました。

●調理や飲食を伴う活動を中止しましたが、DVDを使ったCO・OP商品の歴史や食の安全についての学習を行いました。●7月「おうちでつどい」STAY HOME E」では、「特別なあたりまえ」をテーマに、あらためてCO・OP商品のあゆみを紹介しました。●西置賜地域「笑いわいクッキング」では、調理が出来ない代わりに、レシピ交換の交流を行いました。

2020年度・上期の到達と活動報告

「いつまでも住みつづけられるまちづくりを協同の力で実現しよう」

- 1. 多様な生活スタイルの組合員が参加できる、地域と結びついた組合員活動を広げます。2. 「居場所づくり」をすすめます。地域の諸団体とも協力しながら活動の幅を広げます。3. 安全・安心・健康・便利を重視して、地域に根差した商品政策をすすめます。4. 組合員の様々な生活様式に対応する事業を構築するとともに、社会環境の変化に応じて、より効率的な事業運営をすすめます。5. 地球環境を守る活動を積極的にすすめます。組合員、職員ともに学習を重ね、目的を理解しながら、数値目標を持って取り組みます。

2020年度基本方針



▲7月28日山形県大雨被害でみやぎ生協・ユープふくしまとユープかごしまから贈られた支援物資（手作りマスク）を被害の大きかった河北町と大石田町にお届けしました。

●上期の組合員数の到達は16万1,888人で、純増1,848人でした。昨年度、上期は16万6,155人で純増1,739人だったので、純増としては若干伸びています。年度末脱退を考慮してもなんと今年度の純増計画1,220人を達成できるベースです。●上期の出資金の到達は、39億4,228万1千円です。純増で1億7,141万1千円です。昨年度上期の純増は1億3,892万2千円だったので、今年度は大きく前進しています。●上期の特徴としては例年になく期中の減資が少ないことです。前年比で64.6%、前年差で▲2,284万円です。様々な要因はあると思いますが、2019年度決算で12年振りに出資配当を再開できたのも要因の一つです。今後も継続していきたいと思えます。また、組織全体として積み立て増資の願いに取り組み、多くの組合員からご参加いただきました。この分も下期に数字となって表れていきます。●上期の事業については、コロナ禍による食品小売業への需要の高まりがあり、生協共立社のくらしのセンターも共同購入も、かつてないほどの急激な供給伸長と外自粛が要請された中、保存できる食品や生活必需品のまとめ買いが続き、一時期センターの営業時間変更、チラシやセール企画の中止、共同購入の新規利用のストップ等で利用抑制をせざるを得ない状態になりましたが、組合員の協力もありなんとか乗り切ることが出来ました。下期も、コロナ禍と共存しながら事業と組合員活動をすすめていきます。

●不特定多数の集まりや飲食を伴う活動を中止したため、「居場所づくり」についても開催を見合わせました。●6月下旬より、「福島の子ども保養プロジェクト」が再開されました。当初、今年度で終了予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止した期間があり、半年間延期することになりました。●2020年7月豪雨災害・山形県大雨被害支援募金として募金の呼びかけを行い、OCR募金が201万4,700円（9/20現在の募金が寄せられました。募金には10/20まで取り組み、日本生協連及び、山形県の被災自治体や産直団体に寄贈します。●3月に山形地域で実験的に実施した、共同購入の仕組みを使った「フードドライブ」を、上期で全地域を対象に行う予定でしたが、コロナ禍で利用増加により商品欠品が相次いだことを受け、下期実施となりました。

●「居場所づくり」の取り組みを再開し、地域のつながりを広げます。●「SDGs達成に向けて」7月「おうちでつどい」STAY HOME E」では、組合員の身近にあるSDGsの取り組みを募集し、今後、寄せられた取り組みから「みんなのSDGsゲーム」を作成し、楽しくSDGsを学ぶきっかけとします。●ユニセフ活動のお知らせと併せ、「東ティモール指定募金」を呼びかけます。●「居場所づくり」の取り組みを再開し、地域のつながりを広げます。

●「居場所づくり」の取り組みを再開し、地域のつながりを広げます。●「SDGs達成に向けて」7月「おうちでつどい」STAY HOME E」では、組合員の身近にあるSDGsの取り組みを募集し、今後、寄せられた取り組みから「みんなのSDGsゲーム」を作成し、楽しくSDGsを学ぶきっかけとします。●ユニセフ活動のお知らせと併せ、「東ティモール指定募金」を呼びかけます。●「居場所づくり」の取り組みを再開し、地域のつながりを広げます。

コロナ禍でも地域の期待に応える事業活動

センター事業

●新型コロナウイルスの影響により「3密」を避けるために供促面での変更を行い、ゴールデンウィークから5月末まではチラシ折込みの中止や営業時間の変更も行いました。●6月で終了した国による「キャッシュレス決済ポイント還元」事業もあり、センターでのキャッシュレス決済率は41.7%となつています。主に、MICAカードの普及

●7月1日からの「包装容器リサイクル法」によるレジ袋有料化によって、全てのレジ袋が有料となりました。マイバック持参率は、上期累計で93.6%、前年から1.3%の改善となりました。引き続き、環境を守る活動をすすめます。

●緊急事態宣言が出された5月には、供給高

総合政策部

●上期に届いた組合員の声の総合計は、5万6,277件です。●新型コロナウイルス感染症拡大により、生協の事業の需要が高まり、生協の運営や職員に対して沢山の感謝の言葉をいただきました。

共済事業

●自転車保険が義務化されたことにより、加入が増えています。●2020年度上期は2,647件1億5,140万円の共済金が支給されました。●7月末の山形県豪雨災害への共済金支給は4件24万円でした。

組合員へのお役立ちをすすめました

●昨年、鶴岡地域のこびあで導入した軽トラの「せいきよう便」が順調に推移し、大型車と変わらない供給を作ることが出来ています。●移動店舗「せいきよう便」●「せいきよう便」●「せいきよう便」

●5月を予定していた山形地域での共同墓地・納骨堂「こぶ協同の苑中桜田」の開設が遅れており、11月末開設で工事進行中です。



▲蔵王ブルー産直提携30周年!

●蔵王ブルー産直提携30周年! ●蔵王ブルー産直提携30周年!

●緊急事態宣言が出された5月には、供給高

●緊急事態宣言が出された5月には、供給高

●緊急事態宣言が出された5月には、供給高

●緊急事態宣言が出された5月には、供給高

●緊急事態宣言が出された5月には、供給高

●緊急事態宣言が出された5月には、供給高



2020年度 上期：組織到達と事業状況の報告

2020年度上期は 組合員が1,848人増加し、16万1,888人になりました。年間目標の151.5%です。

	共立社合計	鶴岡生協	新庄生協	北村山生協	山形生協	天童生協	酒田生協	南陽生協	寒河江生協	西置賜生協	コープよねざわ	本部、その他	
組合員数	純増計画(人)	1,220	400	30	50	300	50	100	100	50	50	90	-
	到達(人)	1,848	412	59	97	681	88	307	92	71	66	64	-89
	到達率	151.5%	103.0%	196.7%	194.0%	227.0%	176.0%	307.0%	92.0%	142.0%	132.0%	71.1%	-
	到達組合員数(人)	161,888	39,872	8,403	7,174	48,728	4,923	24,445	6,004	4,805	5,776	4,504	7,254
	世帯数	394,790	54,256	24,881	30,570	119,708	21,869	43,762	22,467	25,720	18,552	33,005	-
	組織率	41.0%	73.5%	33.8%	23.5%	40.7%	22.5%	55.9%	26.7%	18.7%	31.1%	13.6%	-
出資金	純増計画(円)	3,300万	100万	200万	400万	500万	300万	500万	400万	300万	300万	300万	-
	到達(円)	1億7,141万	3,699万	1,493万	1,237万	4,228万	1,115万	2,236万	1,028万	1,070万	500万	492万	43万
	到達率	519.4%	3699.2%	746.7%	309.2%	845.5%	371.5%	447.2%	257.1%	356.6%	166.7%	164.0%	-
	到達出資金(円)	39億4,228万	10億4,341万	3億532万	3億1,411万	9億3,699万	2億5,744万	5億75万	2億928万	1億6,848万	1億3,518万	6,464万	670万
	平均出資金(円)	24,352	26,169	36,334	43,785	19,229	52,293	20,485	34,856	35,063	23,403	14,351	924
積立増資者	参加者(純増)目標(人)	60	10	5	5	0	10	5	5	5	10	5	0
	到達(人)	1,108	14	38	70	440	1	94	98	71	122	153	7
	年間計画差	1,048	4	33	65	440	-9	89	93	66	112	148	7

(注1) 本部組合員数については、住所不明組合員です。
(注2) 世帯数は、山形県「山形県の人口と世帯数(推計)」の「市町村別人口と世帯数(2019年3月1日)」によります。
(注3) 出資金については、各金額について万円未満を切り捨てて表示しています。よって各生協の合計額と共立社合計欄の金額は一致しません。

組織の到達点

- 上期の組合員数は、1,848人の純増となりました。新型コロナウイルス感染が拡大する中、安全安心を願い生協への加入が増えました。
- 出資金は、昨年一昨年と微増の状況が続いていましたが、12年ぶりの「出資配当」の実施もあり、1億7,141万円の純増、前年同期より3,249万円の増加となりました。また、今年度は出資金の大切さを伝え、「誰もがめざす出資金5万円」を目標に、「積立増資」の取り組みに力を入れ、新たに1,863人の組合員が積立増資に参加いただきました。引き続き、より多くの組合員からの出資金の増資活動にご協力をお願いいたします。



増資へのご協力をおねがいします!

生協はより良い暮らしを実現するため、組合員自らが出資・利用・運営する組織です。出資金は商品の仕入れから設備投資等、運営の資金として「生協を支える力」となります。ぜひ、増資の取り組みにご協力をお願いします。

【増資の方法】

- ①積立増資** お申込みいただくと毎月一定の金額(1口500円から)が、口座振替されます。
- ②OCR増資** 共同購入OCR注文用紙の「増資申し込み欄」にて、数量1で500円の増資となります。
- ③レジ増資** 暮らしのセンターでお買い物の際に、お申し出金額を増資できます。

事業・財務の特徴

損益計算書 自2020年3月21日 至2020年9月20日 (単位:円)

	実績	予算	前年	予算比
供給高	105億2,318万	97億9,660万	97億1,600万	107.4%
供給剰余金	29億637万	26億6,445万	26億1,362万	109.1%
その他事業収入	2億1,672万	2億1,449万	2億1,100万	101.0%
事業総剰余金	31億2,309万	28億7,894万	28億2,463万	108.5%
事業経費合計	28億2,486万	28億3,529万	28億4,060万	99.6%
人件費	13億6,003万	13億7,039万	14億731万	99.2%
物件費	14億6,483万	14億6,490万	14億3,329万	100.0%
事業剰余金	2億9,822万	4,365万	▲1,596万	683.2%
事業外収益	3,129万	3,348万	3,554万	93.5%
事業外費用	842万	1,176万	1,121万	71.7%
経常剰余金	3億2,108万	6,537万	836万	491.2%
特別収支	-	-	▲383万	-
当期剰余金	3億2,108万	6,537万	453万	491.2%

※数値は万円未満を切り捨てています。 ※特別収支は固定資産の除却によるものです。

- 供給高は、予算比107.4%、前年比108.3%と予算前年とも超過達成しました。センター事業で予算比103.1%、前年比104.9%、共同購入で予算比115.3%、前年比114.6%となりました。サービスでは協同の苑山形の開設が遅れたこともあり、予算比82.8%、前年比89.8%となりました。再生可能エネルギーの普及に取り組んでいる電気小売り事業の利用額は、4,774万円となり、前年より875万円広がりました。
- 事業経費の人件費と物件費では、予算比99.6%と予算内の執行となっています。
- 経常剰余金は、供給高の大きな増加、組合員の利用が高まったこともあり、3億2,108万円と予算より2億5,571万円、前年より3億1,272万円増加しました。前年度年間経常剰余金の実績の1億4,185万円の2.2倍となりました。
- 純資産は、前年の9月と比べ5億758万円、大きく増加しました。



お問い合わせ
共立社コールセンター 0120-916-244